

倒産集計**信用交換所京都本社**

10年3月繊維倒産

大型倒産の発生で負債額は大幅増加**▼全国▲ 発生件数=58件 負債額=742億3200万円**

2010年(平成22年)3月の全国繊維業者の倒産(負債額1000万円以上=整理・内整理含む)は58件で、前月比で4件(7.4%)増加し、前年同月比で1件(1.7%)減少した。

負債額は742億3200万円。前月比で576億2300万円(346.9%)、前年同月比で340億9000万円(84.9%)の大幅増加となり、3月の負債額としては1995(平成7年)の832億2300万円に次ぐ統計開始以来2番目の高水準となった。

09年3月はユーリーグ(株)(東京、通信販売ほか、負債額96億円)、泰道リビング(株)(東京、寝具・タオル製品ほか卸、同84億7000万円)などの業界著名企業が破たんしたが、当月も業界新聞などマスメディアにも数多く取り上げられた著名企業U.F.O.(株)(大阪府中央区、婦人服ほか卸、同368億円)及び同社関連のGFS(株)(所在地同、婦人服ほか卸、同160億円)に加え、老舗産元商社の岸商事(株)(石川県羽咋市、合繊維物製造、同47億円)、08年5月に破たんした(株)マザーバード(東京)の受け皿会社だった(株)コンフォートウィング(東京都新宿区、寝具卸、同18億円)といった大型倒産が発生し、負債額を大幅に押し上げる結果となった。

百貨店など流通業界の再編、消費者の嗜好二極化が一層進み、変化に対応しきれず業績ギリギリに陥った小規模企業の倒産が大勢を占める状況が続く中、過去から種々の問題で注目されていた企業の破たんも見受けられ、業界収縮は加速化している。経費節減などで一時的に収益が持ち直している企業もあるが、売り上げの減少が続けばこれにも限界があり、今後はさらに不況型の倒産が増加するものと予想される。

業種別では、「小売商」が23件で最も多く、次いで「紳士・婦人・子供服・被服製造卸」14件、「その他」5件、「織物製造」「ニット製品・洋品雑貨製造卸」各4件、「織物卸」3件、「紡績・撚糸」2件、「染色整理・特殊加工」「寝具・インテリア製品製造卸」「呉服・和装製品製造卸」各1件となった。

原因別では、「業績ギリギリ」が41件で全体の70.7%を占め、次いで「業況急変」10件、「貸し倒れ損失」3件、「放漫経営」「資金力薄弱」各2件となった。

▼京都▲ 発生件数=1件(前年同月4件) 負債額=2億円
(前年同月2億4000万円)**▼滋賀▲ 発生件数=0件(前年同月2件) 負債額=0円**
(前年同月1億円)